

平成26年度佐久農村女性のつどい開催される

平成27年1月14日、佐久農村女性団体連携会議の主催により「佐久農村女性のつどい」が開催されました。連携会議を組織する長野県農村生活マイスター協会佐久支部、農村女性ネットワーク佐久平、長野県女性農業委員の会佐久支部、JA佐久浅間女性会、JA長野八ヶ岳女性部、(株)ヤツレン酪農協議会女性部のメンバー等、佐久管内の農村女性およそ190名が参加し、各団体から5つの活動事例発表、講演会、また、スコップ三味線、健康体操などが披露されました。

まず、オープニングセレモニーとして、JA佐久浅間女性会助け合いの会によるスコップ三味線が賑やかに発表されました。

活動発表では、JA佐久浅間女性会による「TPPってなあに？」が農業や医療分野での問題事例をとりあげ、わかりやすく寸劇で伝えられました。農村女性ネットワークからは、小諸市で初めて取り組んだ料理コンテストで、それぞれ自慢の料理がたくさん発表されたこと、佐久市農村生活マイスターの会からは、郷土料理レシピ本を発行し、市内のいたるところで料理講習会を開催したり、セミナーを開催し、普及に努めていること、JA長野八ヶ岳女性部からは、学校給食への食材提供や東京へ行き消費宣伝会を行っていること等が紹介されました。

また、女性農業委員の会からは、軽井沢町の依田美和子委員からリゾート地の立地条件を活かし、自宅の農園を開放してレストランのシェフが自由に摘み取りできるようにしたり、観光施設に店を持ち、農産物や加工品を販売している事例が発表されました。その後、農業者年金の説明で、女性も将来に備えて、資産を用意しておくことが大事との話がありました。

昼食休憩時には、農産加工を行っている団体、個人から商品の展示販売が行われた他、講演を行って頂いたチーズ工房のアトリエ・ドフロマージュからも漬物とのコラボによるチーズピザの試食と販売があり、大変にぎわいました。

午後は、体操の指導者によるぴんころ地蔵健康体操で身体をほぐした後、(株)アトリエ・ドフロマージュの松岡容子社長による講演を聞きました。「チーズに夢をのせて走った34年！6次産業化の先駆け」と題して、チーズ工房を開設するに至る過程や現在のお店の様子についてお話しを聞き、女性として活躍している姿に魅せられました。

一日盛りだくさんの内容で、参加した女性は、さまざまな刺激を受け、今後の活動に意欲を燃やしていました。



オープニングセレモニー いこい会によるスコップ三味線



主催者挨拶



JA 佐久浅間女性会による寸劇

農村女性ネットワークこもろの発表



佐久市農村生活マイスターの会の発表



JA 長野八ヶ岳女性部の発表



女性農業委員の会の発表



農産加工品展示販売者による説明



手作り加工品の展示販売



鳥川寛子さんによる
びんころ地蔵健康体操



アトリエ・ド・フロマージュ松岡社長の講演「チーズに夢をのせて走った34年！6次産業化の先駆け」